

## けい酸カルシウム板面

### 7章10節:合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) ハイライト#800(標準仕様)

#### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント	ハイライト#800	F☆☆☆☆	水道水

#### 塗装仕様

表7.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面(けい酸カルシウム板面)の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—	—	—	劣化し脆弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	—	—	—	素地を傷付けないように除去する。
3 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー 【弊社推薦商品】 ・マイティーエボシーラークリヤー ・マイティーウンガルエボシーラークリヤー	—	全面に塗る。
4 穴埋め、 パテかい	JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。
	JIS A 6914	せっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
5 研磨紙すり	研磨紙P120~220	—	—	パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。

(注) 1.屋外及び水回り部の場合は、工程4の合成樹脂エマルションパテは、塗料製造所の指定するものとする。

2.工程4のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボード面の場合に適用する。

3.けい酸カルシウム板面の場合は、工程3の前に吸込止めとしてJASS18 M-201による塗料を全面に塗る。ただし、屋内で現場塗装する場合、吸込止めに用いる材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

4.仕上材が仕上塗材の場合は、パテは、仕上塗材製造所の指定するものとする。

5.新規に塗装又は壁紙張りを行う場合は、RA種又はRB種とし、工程1に代えて継目処理部分を十分に乾燥させる。なお、壁紙張りの場合は、パテは壁紙専用のものとする。

表7.10.1 合成樹脂エマルションペイント塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
1 下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	透明なブルークリヤー	—	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
					スプレー		
2 中塗り	ハイライト#800	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				5~15	スプレー		
3 上塗り	ハイライト#800	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.10	—
				5~15	スプレー		

(注) 1.新規に塗る場合は、A種又はB種とする。

#### 7.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整

せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整は表7.2.7により、種別は特記による。特記がなければRB種とする。

#### 7.10.2 せっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルションペイント塗り

(a)合成樹脂エマルションペイント塗りは表7.10.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

(b)塗替えの場合のしみ止めは、7.9.2(b)による。

#### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、单品説明書などを参照ください。